

アジア国際社会福祉研究所 kara

No.21 2019.1.17

編集・発行責任者 秋元 樹

「アジアの仏教ソーシャルワーク～日本が忘れてきたもの～」

(京都・龍谷大学共催シンポジウム)

「ソーシャルワーク教育の将来と国際協力」

(世界6か国の研究者たちと円卓会議)

「アジア国際社会福祉研究所 (ARIISW)」は
日本、そして世界のソーシャルワーク研究に貢献しています

12月22日、龍谷大学国際社会文化研究所との共催により国際シンポジウム「アジアの仏教ソーシャルワーク～日本が忘れてきたもの～」が開催されました。このシンポジウムはARIISWにとっては初めての西日本で開催されたイベントです。当日会場に集まった総勢80名以上の参加者は、仏教ソーシャルワークの作業定義や各国の実践の話に熱心に聞き入っており、淑徳大学アジア国際社会福祉研究所の活動に熱い視線と期待の声が寄せられました。冒頭ARIISWから郷堀ヨゼフ所員が問題提起、続けてモンゴルのバットキシグ・アディルビツシュ先生、カンボジアのボラ・チャン先生、龍谷大学の鍋島直樹先生が報告し、午後は参加者との質疑、議論がなされました。



また、1月10日には国際ソーシャルワーク教育連盟(IASSW)理事たちを招いた円卓会議「ソーシャルワーク教育の将来と国際協力 IASSWの未来:我々は何を期待するか?より多くの見返りか、より根本的な見直しか」(司会:松尾加奈ARIISW所員)が淑徳大学淑水記念館2階で開催されました。参加したアナマリア・カンパニーニ会長、バーバラ・シャンク事務局長をはじめ各国のIASSW理事たちは、阪口春彦教授(龍谷大学短期大学部)の率直な日本からの声に耳を傾けるとともに、秋元樹所長より文科省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業助成研究事業での成果・知見を踏まえた挑戦的な提案を受けました。



【磯岡学長表敬訪問】

2020年にイタリア・リミニで開催される世界会議において、ARIISWによる独自セミナー企画の可能性が打診されました。西欧とは異なる社会・地域におけるソーシャルワーク実践を研究しているARIISWの研究事業ですが、理事からは「脱植民地化」や「土地固有の知見」を尊重する世界のソーシャルワーク議論のトレンドと符合するという意見もありました。ソーシャルワーク主流派であるIASSW理事たちはARIISWの活動に大きな期待と関心、そして信頼を寄せています。

新しい年も、ARIISWは日本という国境を超え、アジアと世界のソーシャルワーク研究に貢献してまいります。どうぞご期待ください。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。